

第4学年の実践

小林 恵子

【単元名】「自分新聞を作ろう」

【教材名】「新聞を作ろう」(光村図書4年)

1 学級の実態

- ・全体的に意欲的な子どもが多い。
- ・書くことに関しては、全体ではないが意欲的に取り組む。
- ・たくさんの量を書くのだが、内容が定まらず伝えたいことが見えてこない。

2 言語活動

相手意識	目的意識	場面意識 (公/私)	ジャンル
学級の友だち・家族	10歳になった自分を振り返り自分の事を伝える	公	紹介文

3 学習目標

(1) 態度目標

・「自分新聞」を作ることにより、自分のこと(得意なこと・できるようになったこと等)を、振り返ることで、家族や周りの人に支えられてきたことを発見できるようにする。

(2) 価値目標

- ・友だちの新聞を見ることで、友だちのことを再発見することができる。
- ・10歳になった自分を振り返り、これからの自分を考えることができる。

(3) 技能目標

○新聞の書き方を理解し、見やすい新聞に作り上げることができる。
◎レイアウトを考え、小見出しの付け方などを工夫することができる。

(4) 年間技能目標における位置づけ(◎は重点的に指導)

月	単元名	課題	取材	論理	構成	記述	推敲	交流
5	読んで、自分の考えをまとめよう					○		◎
6	調べたことを報告する文章を書こう		○		◎			
7	自分新聞をつくろう				◎	○		
9	友だちに紹介しよう					○		◎
11	アップとルーズで伝える	◎				○		
12	物語を読んで、感想文を書こう					◎	○	

4 単元構成図

単元名・教材名

「自分新聞を作ろう」(光村4年上)

～新聞を作ろう～

総時数 4時間

学習の活動目標

学習目標

第1次(1時)

※《》は評価規準

- ・新聞を見せて、新聞の特徴などで気付いたことを交流し合う。
- ・書いたものは友達と見せ合い、家族にプレゼントするという目的に向かって意欲をもつ。

- ・新聞を書くことについて関心をもつことができる。
《新聞の特徴を知り、相手に伝えることで書く意欲をもっている》

第2次(2時)〈本時〉

- ・自分のことで一番伝えたいことを選材し、下書きをする。

- ・小さい頃の出来事や、学校でのこと、スポーツチームのことで伝えたい内容を選材、情報収集しながら書くことができる。
《伝えたいことをまとめている》

- ・下書きを読み合い、相互評価する。

- ・書いたものに見出しを付けたり、写真やイラストを選材したりしながら書くことができる。
《文章に合った見出しや、写真・イラストを考えている》

第3次(時)

- ・書いたものを発表し合い、意見を述べ合う。

- ・書いたものを互いに読み返し、よりよくなるどころ、分かりやすく伝わっているところを評価することができる。
《文字の誤りや、よりよく表現できるところをみつけている》

- ・友だちの発表を聞いて、これからの新聞作りに生かすことができる。
《友達の新聞のよさに気づいている》

5 学習活動と指導の実際

第一次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

①学習内容

新聞について気づいたことを発表させ、新聞の特徴を見つける。(書きだす)
(1時間)

子どもの感想

- ・ 新聞は色がついていて、見やすい。
- ・ 文字のサイズが違う。
- ・ 写真やイラストがあると、分かりやすい。
- ・ こんな新聞を書いてみたい。

②指導内容

実際に新聞を見せて、「見出しの書き方」「レイアウト」「伝えたいことは何か」を考えさせ、文章だけでなく、資料や写真、イラストを加えるとより伝わることを知らせた。また、「書いて終わり」ではなく、相手がいることによって書く意欲を持たせた。

学習計画

- ①新聞の特徴をつかもう
- ②つたえたいことを考えよう
- ③つたえたいことをメモし、文章に整理しよう
- ④下書きを見せ合い、アドバイスをしよう
- ⑤できたものを、友だちや家族に紹介しよう

第二次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

①学習内容

(1) 自分のことで一番伝えたいことを題材し、下書きをする。

(小さい頃の事・今の自分のこと・将来のこと)

- ・ 10歳になる今、自分のこれまでのことを振り返り、自分の成長を伝える。

(2) 言いたい内容が伝わるかどうか、友達と読み合う。

- ・ **書いたものに、見出しをつけたり、イラスト・写真を加えたりする。** (2時間)

②指導内容

(1) 自分の小さい頃の事などを、おうちの人に聞いたり、できるようになったことを考えて書いたりさせる。

- ・ 伝えたいことをいくつか書き、その中から最も伝えたいことを選ばせる。
- ・ 「書きだし」「文章の表現」などを考えながら、文章をまとめさせる。

(2) 友だちにアドバイスをもらったところを、もう一度見直しをさせる。

第三次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

①学習内容

- (1) 書いたものを発表し合い、意見を述べ合う。
- (2) 友だちの新聞のよさ（レイアウト・資料の使い方など）を、みつける。（2時間）

②指導内容

- (1) グループで発表し、友だちのよさを伝えさせる。
- ・書いたものに合う見出しや、写真・イラストを考えさせる。

6. 授業の実際

授業1 構成の指導について

(1) 授業の計画

教師の手だて



・実際に新聞を見せて、「見出しの書き方」「レイアウト」「伝えたいことは何か」を考えさせる。

・文章だけでなく、資料や写真、イラストを加えるとより伝わることを知らせる。

・「書いて終わり」ではなく、相手がいることによって書く意欲を持たせる。

【本時でつきたい力】

- ・小さい頃の出来事や、学校でのこと、スポーツチームのことで伝えたい内容を選材、情報収集しながら書く。
- ・書いたものに見出しを付けたり、写真やイラストを選材したりしながら書く。

《文章に合った見出しや、写真・イラストを考える事ができる》

- ・書いたものを互いに読み返し、よりよくできるところ、分かりやすく伝わっているところを評価する。

《文字の誤りや、よりよく表現できるところをみつけることができる》

【本時の言語活動】

- ・自分のことを友だちや家族に紹介する。

【本時の活動計画】

- ① 自分の事で一番伝えたいことを選材し、下書きをする。
- ② 下書きを読み合い、相互評価する。

児童の意識の流れ

・なかなか書きたいことが見つからない・・・



・下書きをして、友だちにみてもらうことで、まとめることができる。



・友だちのレイアウトは、見出しがあって、読みやすい。



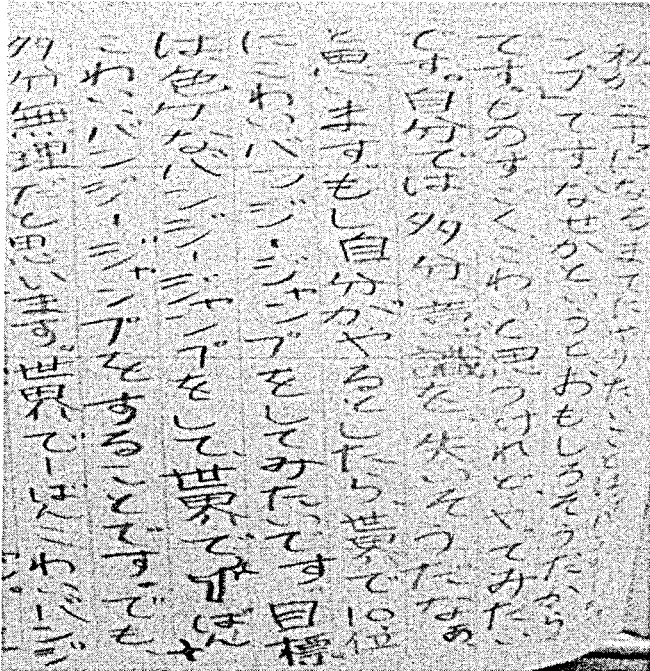
・みんなで読み合うと、友だちのことが分かる。



(2) 授業の実際

①自分のことで一番伝えたいことを選材し、下書きをする。

自分のこと（得意なことや、20歳までにやりたいこと等）を、紹介する文章をいくつかノートに書き、その文章を見直していく。書いた後に発表し、一番伝えたいことが相手に伝わったのか、確認していく。



(資料1 20歳までにやりたいこと)

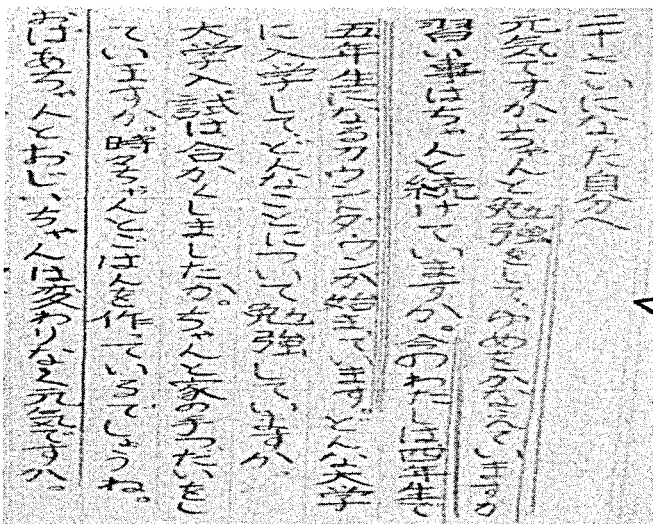
20歳までにやってみたいことは、「バンジージャンプ」だということを発表した。発表した後に「質問タイム」を設けた。

C1：なぜ、バンジージャンプをしたいのですか。

C2：テレビで見ている、とてもおもしろいと思ったからです。

C3：他にやりたいことは、ありますか。

C2：長いジェットコースターに乗りたいです。



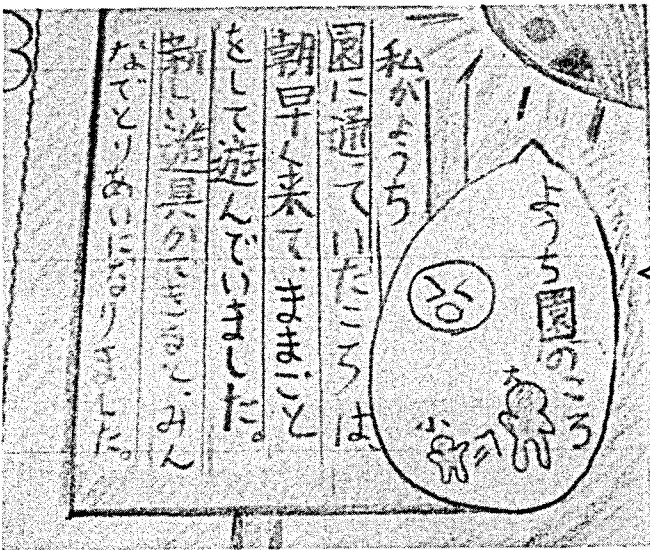
(資料2 20歳になった自分へ手紙)

20歳になった自分に手紙を書く。書いた文章を見直し、一は、家族のこと、二は、自分の夢について、三は、今の自分の事。どの内容を書いているか、確認させた。

見直した後で、この三つが書かれているか、一人ひとり確認した。書いていなかった児童は、もう一度文章を見直すように伝えた。

②下書きを読み合い、相互評価する

友だちが書いた下書きを読み、伝えたいことがはっきりしているか、確認する。また、レイアウトのときの、アドバイスも付け加えて、教え合う。



ようち園の頃のことを伝えた文章。レイアウトも完成し、友だちにきちんと伝わっているか確認していた。太陽を書き、そこから吹き出しをつけたことで、「楽しい」という気持ちが伝わったようだった。

(資料3 新聞の下書き)

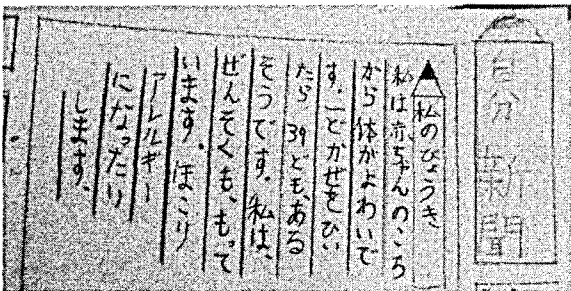
発表・質問のしかた

- ①自分が書いた文章を読む。
- ②読んだ後で、質問や知りたいことを聞く。
- ③聞かれたことに対して答え、完成したレイアウトを見て、よいところや、なおした方がよいところを聞いて、見直す。

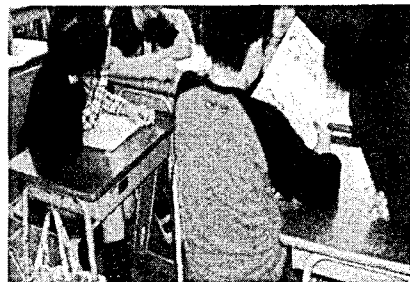
自分が書いて完成し、何度も見直しをしたのだが、実際に相手に伝える・相手に見せることで、よりよい新聞に変化していくことが認識できたようだった。レイアウトで悩む児童も、友だちの下書きを見ることで参考になったようだった。

友だちからでたアドバイス

- ・字の大きさが同じで、色も一緒なので、どれが一番伝えたいのかわからないよ。
- ・〇〇ちゃんの、小さい頃のことをよくわかった。
- ・もう少し、文章を詳しくかいたほうが伝わると思うよ。



(資料4 新聞の下書き)



(資料5 グループで下書きを読み合う)

7 実践のまとめ

(1) 成果

価値目標

・「自分新聞」を作ることにより、自分のこと（得意なこと・できるようになったこと等）を、振り返ることで、家族や周りの人に支えられてきたことを発見できるようにする。

総合の学習で、「2分の1成人式」を行う予定だったので、それにも関連付けて行うことになっていた。文章を書くことがもともと苦手だった子どもたちであったが、自分のことを紹介することに関しては、意欲的に取材し、まとめることができた。伝えたいことをいくつかあげさせていると、始めはなかなか文章が思いつかなかった子どもも、短文で書くことで、たくさんの情報を思い出すようになった。

これまで自分が元気に過ごしてきたことは、周りの支えがあったことに気付く児童も多かった。新聞を書くと同時に、20歳になった自分に伝えることをスピーチした。その内容の中には、「家族はげんきですか。」「あの頃の友だちを大切にしていますか。」等の内容が多かった。

態度目標

・友だちの新聞を見ることで、友だちのことを再発見することができる。
・10歳になった自分を振り返り、これからの自分を考えることができる。

これまでの生活の中で、できるようになったことや、得意なことを振り返り、もっとできるようになりたいと、夢をもつようになった。また、これまで一緒に過ごしてきた友だちのことをもっと知ることで、友だちに対する思いが変化し、言動に表れるようになった。将来の夢を考えるにあたり、今回の新聞を書くことで、これまで夢に抱いていたものが変わった児童や、「人に優しくしていこう。」という思いをもつ児童もいた。

技能目標

・一番伝えたいことを選び、レイアウトを考えることができる。（構成）
・伝えたいことを考え、文章に表すことができる。（記述）

新聞作りは、社会科の学習で慣れていたものの、「自分新聞」を作成することは始めてだった。色をつけたり、文字の大きさを変えたりすることで、見る人に楽しさや読みたいという気持ちを持たせるような工夫が一人一人できていた。自分の顔を付け加えたり、得意なことを絵や分で分かりやすく紹介したりすることもできていた。

(2) 課題

- ・家族にプレゼントする活動を取り入れたのだが、家族の人の思いを聞く場面を設定することができなかった。
- ・絵にこだわる児童もいて、文章をうまく構成することができなかった。

(3) 単元を終えて

今回、「自分新聞」を行った理由として、自分のことや友だちのことをもっと好きになってほしいという思いもあった。なかなか自分に自信がもてない児童は、友だちのこともつい否定的に見てしまう傾向にあった。10歳を迎える子どもたちにとって、これまでに元気に過ごしてきた背景には、周りの支えや、自分自身の頑張りがあることを知らせたかった。自分のことを振り返り、文章に表し、相手に見せる活動で、少しでも自分に自信を持ち、これからの生活に生かしてほしいと思った。新聞を家族に見せることで、家族との交流が増えるようにと願っていた。学習参観等で、新聞を紹介できればよかったのだが、時間を作ることができなかった。学習参観の「2分の1成人式」で、新聞に書いたことを思い出し、「できるようになったこと・感謝の気持ち」を伝える活動を行った。家族に、自分の思いが伝わったと考える。新聞を書いたことで、「2分の1成人式」でのスピーチが、抵抗なく活動できた。